

大相撲 10年ぶり延岡場所

12月7日、延岡市民体育館



日本相撲協会と大相撲延岡場所実行委員会（清水英男名誉会長、櫻本雄介実行委員長）はきょう、延岡市大鷹町の大鷹診療所で会見し、12月7日に延岡市民体育館で「大相撲延岡場所」開催すると発表した。大相撲の延岡巡業は平成20年12月、同市舞野町出身の立行司内田順一さんの「第35代木村庄之助襲名記念」以来10年ぶり。

会見には日本相撲協会の千田川親方（元小結關西）と櫻本委員長、延岡市出身の琴恵光関が出席。詰め掛けた市民約30人が見守る中、千田川親方と櫻本委員長が契約書調印を終え笑顔で握手する（右から）千田川親方、櫻本委員長、琴恵光関（きょう）千

幕「さらさら」課題が見えた

新 琴恵光関、来場所の健闘誓う

大相撲7月名古屋場所（は気持ちが上がっていたので、14年ぶりの幕内昇進を遂げた）延岡市出身の琴恵光関（26）は柏谷充隆さん（佐渡ヶ嶽部屋）と佐渡ヶ嶽親方元関脇琴ノ右夫妻が延岡入り。きょうは延岡後援会の稲田義美会長らと多利アール新聞社を訪れ、悔い、結果に終わった月場所を振り返り、9月場所での健闘を誓った。

7月場所は、勝ち敗と不本意な成績、開幕序盤は前に出る本来の相撲を取っていたが、中盤以降は

は気持ちが上がっていたので、14年ぶりの幕内昇進を遂げた。琴恵光関は本場に十両と幕内では全然違うなというところを感じました。さらさら課題が見えたと思うので、きょうは延岡後援会の稲田義美会長らと多利アール新聞社を訪れ、悔い、結果に終わった月場所を振り返り、9月場所での健闘を誓った。

また、(三)役経験もある、柄塚山に勝った後に、自分らしい相撲を思っていました。その後、ちよと自分の中でかみ合っていない部分があった。最後まで取り切れていなかった。迷いが出てしまつて、それを修正して

きょうにいましたと分析した。佐渡ヶ嶽親方も初日、出る相撲で土俵際に敗れた。からの口まで結構前に出る相撲で、土俵際に敗れた。攻めて攻め込

「千田川親方は一人でも多くの延岡の方に巡業を見ていただき、力士みんなを応援していただき、私たちがバックアップ、全面協力させていただきます。みなさんとともに盛り上げていきたい」と話した。

琴恵光関は「延岡巡業開催が決まって、本当にうれしく思っています。幕内力士として戻って来ると、次に足が出なくなるんです。どんな悪い方向に行っても、千秋楽は足が一つも出ていなかった。乗り越えるには経験を積み重ねたい。それが今後の課題と話した。(3)面にインタビュー」



取材に応じる琴恵光関と佐渡ヶ嶽親方。手前はFMのへおかのマイク。インタビューの様子はあす朝8時から放送予定

黒地に手力男命と稲妻

新たに宮崎市の戸田さんが寄贈

大相撲に欠かさないのが土俵入り。横綱は当然ながら、幕内、十両とそれぞれに土俵入りがある。の時に身に着けるのが化粧まわし。名古屋場所に入籍した琴恵光関は現在3本、そして9月場所には新しい4本目が届く。

新化粧まわしは、琴恵光関という宮崎市の住の戸田厚子さんが寄贈した。デザインは宮崎らしく、神楽から手力男命（たちからおのみこと）を描いた。現在、東郷の専門業者が場所ごとに違うものに制作中。

戸田さんは、幕内昇進が確定した10月25日の番付発表後に琴恵光関の実家山田町に電話をかけ、寄贈を申し出た。

「入籍のお祝いに化粧まわしを贈りたい。ぜひ宮崎県をPRしてください」

琴恵光関は、3本の化粧まわしを名古屋場所の幕内土俵入りで披露している。

最初の化粧まわしは、金色の地に松と鷹（たか）をデザインした。松と鷹は、祖父の松尾山が十両時代に着けたデザインをモチーフにした。

2本目は、2年前に平田東九州病院が贈った。鮮やかな青色にあゆやかなので、跳ねる若アユ2匹を描いた。アユが上流を目指すように、琴恵光も上を目指してほしいとの願いを込めた。

3本目は、名古屋場所に合わせて延岡後援会から贈った。

勇ましい城山の千人殺しの石垣と日本三軒半地として知られる城山のヤツバキを描いた。ヤツバキは紅白に描き、その数は8、勝ち越しを祈念した。

いずれの化粧まわしとも、今回の場所、身に付けて土俵入り。NHK総合テレビの白熱で全国に化粧まわし姿が披露された。



新しい化粧まわしのデザイン画。今夕の幕内昇進祝賀会で披露される

延岡場所に合わせて、力士や協会関係者約200人が開催日前日から来延し、市内各所に宿泊する予定。12月7日は午前8時に開場する。開場前には、触れ太鼓が鳴り、公關稻古から初切り、相撲甚句、やぐら太鼓や横綱締めの実演、十両の土俵入りと取組、横綱と幕内の土俵入り、幕内取組、結の一番、引取組など本場所とはひと味違った興行でファンを魅了する。

実行委員会によると、チケットは9月19日に延岡市民対象の先行発売、10月1日に一般発売する。席数は2482席の予定で料金も未定。

琴恵光後援会と東郷部屋合宿でちゃんこ作りを手伝っている山田久美子さん（大鷹町）は「延岡場所が決まってくれて、巡業を見るのは初めて。お相撲さんじかに



松と鷹をデザインした最初の化粧まわし



上流を目指すアユを描いた青色が基調の2本



城山の石垣と紅白8輪のヤツバキを描いた3本目

触れ合えるのは楽しみ。応援しているの、琴恵光関たちには一生懸命さが伝わるような相撲を取ってほしい」と笑顔で話した。

2018.7.27